

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年 9月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	現在2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。参加者は事業所代表、地区会長、市町村、家族代表と毎回決まった人数は集まっているが、毎回参加者が限られており、情報収集や意見交換なども単調になってしまっている。	他職種や地域での幅広い立場からの参加者を得るよう努め、地域からの情報やさまざまな意見を取り入れることが出来る内容の充実した会議を目指し、今後の事業所運営に反映させていく。	①広報活動など行い、民生委員や消防署などの他職種方面へ、会への参加をアプローチしていく。 ②地域を含め、さまざまな職種との情報収集・意見交換を行いながら、開かれた事業所運営を行う。	12ヶ月
2	10	ご家族の面会等で個人家族への説明や要望・聞き取りは出来ているのに対し、家族への事業所全体の運営内容を話したり、家族同士の交流や情報交換の場が少ない。	定期的な家族会の開催や、家族と一緒に参加できる行事などを通じて、事業所と家族、また、家族同士が交流できる機会を提供する。	①行事や家族会は家族が参加しやすい内容や日程で計画し、検討していただきやすいよう案内文などは期間に余裕を持ってお知らせする。 ②会や行事などでは、話しやすく意見交換しやすい雰囲気を作るとともに、家族同士だけで話ができるよう時間を設けておく。	12ヶ月
3	35	防災訓練など、ゾーン内での他部署との協力体制はあるが、地域住民との災害時に備えた協力体制がまだ築けていない。	地域の中での事業所の役割についてや災害時の協力体制を作る。	ゾーン内での防災委員会や運営推進会議などで、災害時に地域住民との連携を図り、避難や救助活動が行えるように検討していく。また、災害時は地域の避難場所として施設を開放していくのか、その場合の受入れ体制なども検討していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。